

茅

ナリ時珍曰菅茅ハカヤナリ山中ニ生ズス、キニ似テ大ナリ菅ノ字ヲスゲト訓ズルハ非ナリ、カサスゲハ臺ナリミノスゲハ蓑衣草通雅ナリ、黄茅ハアブラガヤアブラシバメガヤアイバサウ、勢州カヤニ似テ葉狭クシテ厚ク光アリ莖ノ末ニ花叢垂シテ蜀黍ノ穂ノ如ニシテ黄褐色、又穂ニ油ノ香アリ故ニアブラガヤト云フ、八月ニ花アリ即穀部ノ蒯草ナリ香茅ハ未ダ詳ナラズ、古ヘ三角スゲノ説アレドモ稔ナラズ芭茅ハス、キ次ニ本條アリ荻ハオギナリ莖中實ス花葉トモニ芒ニ似テ大ナリ三香茅ハ香茅ナリ屋敗茅ハヤチニフキタルフキチガヤナリ四角茅ハ屋上ノヨスミノチガヤナリ

〔本草和名〕茅根 一名蔞根音菅 一名茄根音加 一名地菅 一名地筋 一名兼杜 一名白茅出景注 一名白華 一名薺杜音速 一名三稜 一名野菅 一名兼根 一名地根已上六名 一名白羽草出大 一名地煎出雜

〔段注〕説文解字艸下菅也按統言則茅菅是一析言則菅與茅殊許菅茅五訓此從統言也陸機曰此析从草矛聲莫交切古音在三部可縮酒爲藉各本無此五字依韻會所引補縮酒見左傳爲藉言也

〔倭名類聚抄〕茅 大清經云茅一名白羽草反音莫交

〔和爾雅〕茅チカヤ 根名蒲 茅ツハナ 針苗也 荻同上見

〔撮壤集〕茅チカヤ 荻同上見

〔饅頭屋本節用集〕茅チカヤ 草同門木 荻同上見

〔書言字考節用集〕茅チカヤ 正曰白茅時珍云夏花白羽草 荻同上見

〔東雅〕茅チカヤ 菅チカヤ 荻同上見 荻同上見

もの、即今俗にチガヤといひ、またチバナとも、ツバナともいひて、万葉集に茅花とするせしは、彼